

# THE RECORD

RIAJ 社団法人 日本レコード協会

平成6年5月1日発行

RECORDING INDUSTRY ASSOCIATION OF JAPAN

〒104 東京都中央区築地2-8-9 Tel (3541)4411(代)

平成6年5月号 No. 414

## 旧音源活用、需要拡大

### Q盤キャンペーン・スタート

過去8年間レコード店頭での需要拡大の一環として、年1回実施して参りました「ハローアーティスト・キャンペーン」は発展的に解消し、本年度からは、アタルト層を含めたユーザーをレコード店へ呼び込み、より一層の需要拡大を図るため、当該「旧音源を活用したQ盤(Quality Music)キャンペーン」を年2回(夏のボーナス時期)製販一体の事業として実施すべく準備を進めております。

この趣旨概要については、既に業界紙等へ発表しておりますので、ご存じかと思いますが、改めてお知らせいたします。

当該キャンペーンの具体的な展開については、制作・宣伝・営業部会から選抜された「Q盤・プロジェクト」で鋭意検討し、今夏については次の日程で実施することになりました。

- 1、業界紙へ発表・・・平成6年3月31日
- 2、各レコード店へキット配送・・・5月下旬着
- 1 キットの内容  
①総合カタログⅡA6判、276

ページ、約千タイトル掲載、25冊入り

- ②ポスターⅡB2タテ1/2サイズ、「Q盤」のセールスポイントと、40タイトル掲載・1枚

- ③ステッカー、シールⅡお店の「Q盤コーナー」明示用の各種弱粘性シート 1セット

- 3、新聞広告/パブリ・・・6月上旬  
①朝日新聞(東京&大阪版)Ⅱ朝刊、全30段、見開き(記事広告と純広告)



- ②ブロック紙Ⅱ北海道新聞、河北新報、中日新聞、中国新聞、西日本新聞各朝刊全5段掲載
- ③新聞、雑誌、TV、ラジオ等へのパブリ活動も併せて実施すべく準備しています。

- 4、「Q盤」キャンペーンの盛上げ  
夏期ボーナス時期(6/7月)に最大の盛上げ、認知を図り、その後もユーザーへのアツピールをお互いに継続し、次の年末ボーナス時期へと繋げていきたいと思っております。

### Q盤キャンペーンの趣旨概要

- 1、企画意図・目的  
アタルト層を含めた多くのユーザーがお求め易く、値ごろ感のある旧音源の品揃えを行い、レコード店への顧客の呼び水となる具体的な施策を展開して、需要の拡大と同時に旧音源の再活用、活性化を目的とする。これにより現行のレコードマーケットに当該商品による新たな商品ラインを設定(書籍の単行本と文庫本のイメージ)し、併せて新譜のより一層の拡売へと波及させること。

「当該商品発売による効果」

- ①客数の増加による新譜の底上げ

# Q盤

## Quality Music

統一名称ロゴ

### 2、対象作品／商品

- ②レコード市場の活性化と売上増加
- ③アダルト・ユーザーの獲得（第2団塊世代ユーザーの呼び戻し）
- ④価格のパラエティ化によるユーザーのCD高価格意識の破壊
- ⑤アーティスト、作品の長命化
- ⑥音源財産の活用
- ①邦楽の旧音源を活用したアルバム作品

☆ジャンル不問、アーティストもを中心とします。洋楽は次年度以降の課題。☆既発売の「CD選書」「音蔵」

### 3、実施時期

本年度から年2回、夏冬のボーナス時期に合わせて、集中的な発売と強力なキャンペーンをレコード店側（日レ商・卸同業会）と一体となって継続的に展開します。

※開始時期：平成6年4月25日以降発売の当該商品からとします。

※価格は各社対応とし、次年度以降も順次発売とします。

### 4、キャンペーン概要

- ①総合カタログの作成、配布  
既発売商品も含めた、総合カタログ（アーティスト順、ジャケット写・コメント入り）を作成して、お店とユーザーの便益に役立てる。A6判、約2百80P、約千タイトル掲載
- ②新聞（全国紙、地方紙）への出稿とパブリ
- ③店頭キャンペーンの展開（ポスター、ステッカーの貼付等）、

### 5、販売目標

他の商品と一目で分かる「Q盤コーナー」の設置要望

通常商品にプラスの市場拡大をめざして取り組みます。

### 6、統一名称ロゴ、キャッチフレーズの採用

店頭での常設コーナー設定と、ユーザーへのインパクト効果を高めるためアンブレラとなる統一名称ロゴ「Q盤 Quality Music」を設定し、既発売各社の名称は、この統一名称の中の一区分とします。

今後はハローアーティスト・キャンペーンに代わるものとして、当該「Q盤キャンペーン」を製販一体の需要拡大策として展開したいと思えます。

### 「工業統計調査」の 広報用ポスターを公募

通商産業大臣官房調査統計部では同省が12月31日現在で実施している「工業統計調査」の円滑な実施を図るため、広報用ポスターを広く一般から募集しております。

応募期限は来る6月20日。最優秀賞には大臣賞状と賞金（十万円）が贈られます。応募方法等の詳細をお知りになりたい方は、当協会広報室迄お問い合わせ下さい。

### 『新聞報道から』 ⑫

3/20~4/19

21世紀に向けて、相変わらず「マルチメディア」に関する報道が連日のように紙面を賑やかしている。

4月4日の朝日は「郵政省が支援構想：CATV、全国ネット化し通信・放送」という見出しで、

郵政省が地域ごとに営業しているCATV網の相互接続を進め、電話などの通信事業と結び付けたマルチメディアサービスの開発を支援する構想作りを始めたことを報道している。

記事によると接続のための技術基準を作るほか、CATV網を利用した簡易携帯電話の実用実験を行ない、ネットワーク化する。同省は昨年12月、CATVの規制を緩和しており、この構想を受けて、商社や海外企業などの参入がより活発になる可能性がある」と報じている。

3月29日の日経産業は日本電子機械工業会（EIAJ）が、2015年の民生用マルチメディア関連市場の試算を柱とする報告書をまとめたことを報道している。この報告書「デジタルAV機器の将来展望」によると、2015年には、関連市場は1980年の約4・6倍、十七兆六千六百億円に達すると試算している。ハード分野ではデジタル処理機能付きディスプレイ

## ■カラオケ教室の不法録音カラオケテープ 撲滅キャンペーン続く

全国各地で問題となっているカラオケ教室やカラオケ喫茶等で行われている不法録音カラオケテープ販売の撲滅を目指し、昨年、日本音楽著作権協会、日本芸能実演家団体協議会、日本レコード協会の3団体は、

共同で著作権啓蒙の告知広告を『月刊カラオケファン』等のカラオケ専門3誌に掲載しましたが、これに続いて3団体は、昨年11月から本年4月までに全国千70カ所のカラオケ教室やカラオケ喫茶等の代表者に対し、「作詞・作曲家・実演家・レコード製作者等の権利者に無断でコピーした不法録音カラオケテープを生徒に販売することは著作権法に違反する行為になります」と録音についての著作権の正しい知識を謳った著作権啓蒙の文書を送付しました。

さらに3団体は、レコード店の店頭に掲示用の小型ポスターを作成し、「今、演歌が泣いています。」をキヤッチフレーズにカラオケの一般ユーザーにも「不法録音カラオケテープ」の違法性を訴え、今後もこの不法録音テープ撲滅キャンペーンを続けて行くことになっています。

## 著作権情報センターの新役員人事

社団法人著作権情報センターでは、役員改選に伴い、下記の陣容で今年度のスタートを切りました。

理事・秋山多喜男、加藤郁夫、北橋徹、五味俊和、西田実、星野哲郎、吉川静雄、吉田貴寿

代表理事・北田敏夫  
副代表理事・射場敏郎

監事・赤沢宏、田中潤  
同センターでは、著作権思想の普

イと大容量のメモリーを搭載した「ネオAV機器」が主流となり、ソフト分野ではCATV放送やその伝送サービスが一大市場を形成するとしている。

この様な構想や展望が発表、報道されるのと同進行で企業の活発な動きを伝える報道も目立ってきている。

3月24日の朝日新聞は「NTT・米マイクロソフト／通信回線使い提携」という見出しで両社の提携合意内容を伝えている。報道によると、通信回線を利用したソフトの流通分野、及びNTTのファクシミリ通信網サービスと、マイクロソフトが構想している事務機器と通信機器を統合するソフトとの接続をめざすことの二分野で提携が合意されたとしている。NTTは、多くの企業が開発競争しているソフトや端末と、NTT網との接続に力を入れている。と結んでいる。

3月29日の日経産業は「CATV開局へ／伊藤忠が米企業と」と題し伊藤忠商事が提携先の東芝、タイム・ワナーなどとの共同出資で、双方方向通信のCATV放送局を開設していく方針を明らかにした旨を報じている。

今後「マルチメディア」というキー・ワードは健在のようだ。

## 私的録音録画補償金制度懇談会 録画部会開催される

去る3月23日、私的録音問題に関する権利者の協議組織である私的録画委員会の検討状況が、中間報告として、同録画部会の席で発表されました。

委員会の中間報告では、私的録音補償金と共通する部分については録音の考え方を踏襲し、デジタルによ

### 著作権セミナー日程決まる

毎年文化庁が各地域の教育委員会と協力して開催している著作権セミナーは、次のとおり開催日程と場所が決まりましたのでお知らせします。参加ご希望の方は、各地教育委員会にご連絡頂くようお願い致します。

- 北海道・東北地区 (宮城県仙台市) 1994年10月13、14日
- 関東甲信越静地区 (群馬県前橋市) 1994年7月21、22日
- 東海・北陸地区 (石川県金沢市) 1994年8月18、19日
- 近畿地区 (滋賀県大津市) 1994年6月23、24日
- 中国地区 (広島県広島市) 1994年7月14、15日
- 四国地区 (高知県高知市) 1995年2月16、17日

る私的録音特有の問題については権利者の考え方を示しています。

しかし、権利者だけでは解決できない問題も含まれており、今後については、権利者側の検討に併せ、必要に応じて関係者との協議の場も設けられることになりそうです。

### 九州地区 (長崎県長崎市)

1994年9月8、9日

このセミナーでは、文化庁の担当者から著作権法の逐条講義を行うほか、このセミナーへの協賛団体(著作権関係の業務に携わる団体)が参加し、それぞれの団体の講師が実務的な側面からの講演も行い、また、各分野の専門家による特別講演もあり、好評を博しています。

### 官庁関係の異動

当協会関係官庁の文化庁、公正取引委員会において人事異動がありました。

( ) 内は前職  
〈文化庁〉  
著作権課指導普及係長

山中 弘美氏  
(同課国際著作権室調査係長)

国際著作権室調査係長

木村 哲規氏

(文部省教育助成局教職員課庶務・助成係長)

前指導普及係長大和淳氏は文部省初等中等教育高等学校課指導係長。

〈公正取引委員会〉

取引部取引課長補佐

井上 五男氏

(審査部第一審査審査専門官)

前取引課長補佐仲田高年氏は審査部第三審査審査専門官。

### JASRAC新執行部決まる

財団法人古賀政男音楽文化振興財団のビル建設を巡る問題が紛糾し、事態の收拾を図るため前会長・理事長以下執行部全員が辞任したJASRACは、このほど、会長、理事長、常務理事などの新役員を、次ぎのとおり選任しました。

会長	黛 敏郎
理事長	なかにし礼
常務理事	北田 敏夫
常勤理事	青木 重之
常勤理事	加藤 英夫
常勤理事	山上 路夫
常勤理事	中村 凱夫
常勤理事	押田 良信
常勤理事	遠藤紀世志
常勤理事	佐藤 君夫
常勤理事	宮沢 溥明

### 会議メモ (主なもの)

(4月1日～4月30日)

- 4・4 営業部会
- 4・4 Q盤プロジェクト
- 4・5 需要拡大委員会
- 4・7 技術委員会
- 4・7 MV専門プロジェクト

- 4・8 レコード制作基準倫理委員会
- 4・12 消費者専門部会
- 4・12 洋楽企画専門部会
- 4・12 著作権部会
- 4・12 Q盤プロジェクト
- 4・13 GD大賞幹事会演出部会  
合同会議
- 4・15 ビデオ部会プロジェクト
- 4・19 Q盤プロジェクト
- 4・20 業務委員会
- 4・20 ビデオ部会
- 4・21 洋楽宣伝専門部会
- 4・22 理事会
- 4・27 情報システム部会

日本レコード協会ヒットチャートデータによるランキング

平成6年3月度(2月21日~3月20日)のヒットチャートデータがまとまりました。これによる各ランクの5位までは次のとおりです。

順位	タイトル	アーティスト	発売元
<b>■邦楽・洋楽合同シングル 5位</b>			
1.	フッフッフってするんです	とんねるず	(PC)
2.	愛が生まれた日	藤谷美和子/大内義昭	(C)
3.	ただ泣きたくなるの	中山美穂	(K)
4.	GAMBAらなくちゃね	LINDBERG	(TK)
5.	Blue Rose	工藤静香	(PC)
<b>■洋楽シングル 5位</b>			
1.	オールウェイズ・ラブ・ユー	ホイットニー・ヒューストン	(BV)
2.	オール・フォーラヴ	ブライアン・アダムス、ロッド・スチュワート、スティンク	(PO)
3.	ファイアー・イン・ユア・ハート	シセル・シルシェバー	(PI)
4.	好きにならずにいられない	UB 40	(TO)
5.	ホール・ニュー・ワールド	レジーナ・ベル&ビーボ・ブライソン	(SME)
<b>■邦楽・洋楽合同アルバム 5位</b>			
1.	The 7th Blues	B'Z	(BM)
2.	HIDE YOUR FACE	hide	(MV)
3.	After Tone III	岡村孝子	(FUN)
4.	JULIA I	松田樹利亜	(HB)
5.	Lindy Wingding	LINDBERG	(TK)
<b>■クラシックアルバム 5位</b>			
1.	早春賦/鮫島有美子〜母と子の四季を唄う	鮫島有美子	(C)
2.	'94ニューイヤーコンサート	ロリン・マゼール指揮/ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団	(SME)
3.	ヴァイオリンの夜	古沢 巖	(SME)
4.	ショパン・リサイタル・I	エフゲニー・キースン	(BV)
5.	モーツァルト: ピアノ協奏曲第26番	ピリス(P), アバド指揮/ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団	(PO)
<b>■洋楽アルバム 5位</b>			
1.	NOW! I	UB 40, レニー・クラヴィッツ 他	(TO)
2.	Music Box	マライア・キャリー	(SME)
3.	「ボディガード」オリジナル・サウンドトラック	ホイットニー・ヒューストン	(BV)
4.	ファンキー・ヘッドハンター	ハマー	(BV)
5.	オール・ザット・シー・ウォンツ	エイス・オブ・ベイシ	(BV)

※日本コロムビア(C)/ビクターエンタテインメント(V)/キングレコード(K)/テイチク(TE)/ポリドール(PO)/東芝EMI(TO)/日本クラウン(CR)/徳間ジャパン(TK)/ソニー・ミュージックエンタテインメント(SME)/日本フォノグラム(PH)/ポニーキャニオン(PC)/ワーナーミュージック・ジャパン(WJ)/アポロン(AP)/フォーライフレコード(FL)/バップ(VAP)/トランスレコード(TA)/ポリスター(PN)/アルファレコード(AL)/キティエンタープライズ(KT)/ファンハウス(FUN)/イーストウエスト・ジャパン(EW)/BMGビクター(BV)/NECアベニュー(NA)/WEAミュージック(WEA)/メルダック(ME)/ハミングバード(HB)/TDKコア(TDK)/メティアレモラス(MR)/AXEC(AX)/トイズ・ファクトリー・レコード(TF)/バンダイ(BC)/パイオニアLDC(PI)/MCAビクター(MV)/ロックイットレコード(RO)/エイベックス・ディー・ティー(AV)/ピージ(BJ)/ゾナレコード(ZA)/BMGルームス(BM)/ビーグラム(BG)/ワン・アップ・ミュージック(EP)

3月度「ゴールド・アルバム」他認定作品

3月度のゴールド・アルバム他が次のとおり認定されました。

■アルバム (18作品)

●クワドラプル・プラチナ

The 7th Blues/B'Z (BM)  
RED HILL/CHAGE & ASKA (PC)

●ミリオン

放熱への証/尾崎 豊 (SME)

●プラチナ

Cloudy Heart/吉川晃司 (TO)

●ゴールド

HIDE YOUR FACE/hide (MV)  
After Tone III/岡村孝子 (FUN)  
Lindy Wingding/LINDBERG (TK)  
VOICE PEAKS/中西保志 (C)  
JULIA I/松田樹利亜 (HB)

●トリプル・プラチナ

NOW! I/クイーン他 (TO)

●プラチナ

パンク・アヘッド/MR. BIG (EW)  
アベタイト・フォー・ディストラクショ  
ン/ガンズ・アンド・ローゼズ (MV)

●ゴールド

トゥルー・ブルー/マドンナ (WJ)  
ライク・ア・ヴァージン/  
マドンナ (WJ)  
ベスト・オブ・ロッド・スチュアート/  
ロッド・スチュアート (WJ)  
アンブラグド/  
ロッド・スチュアート (WJ)  
ハット・フル・オブ・スターズ/  
シンディ・ローパー (SME)  
スリラー/  
マイケル・ジャクソン (SME)

■シングル (14作品)

●プラチナ

MY SWEET HOME/  
小泉今日子 (V)  
ラストソング/吉岡秀隆 (PC)  
フッフッフってするんです/  
とんねるず (PC)

●ゴールド

友達でいいから/高橋由美子 (V)  
風と雲と私/熊谷幸子 (TO)  
愛が生まれた日/  
藤谷美和子/大内義昭 (C)  
遥かな人へ/高橋真梨子 (V)  
GAMBAらなくちゃね/  
LINDBERG (TK)  
ひまわり/山田晃士 (V)  
Blue Rose/工藤静香 (PC)  
Hey Hey おおきに毎度あり/  
SMAP (V)  
Rambling Rose/吉川晃司 (TO)  
僕がどんなに君が好きか、君は知らない  
い/郷 ひろみ (SME)  
アンバランスなKissをして/  
高橋ひろ (MR)

# 世界の話題

## 第36回グラミー賞受賞者リスト(下)

最優秀メキシカン=アメリカン・アルバム

「Live」Selena

最優秀トロピカル・ラテン・アルバム (ボーカル/インストゥルメンタル)

「ミ・ティエラ〜遙かなる情熱」グロリア・エステファン

<レゲエ>

最優秀レゲエ・アルバム

バッド・ボーイズ/インナー・サークル

<ワールド・ミュージック>

最優秀ワールド・ミュージック・アルバム

「A Meeting By The River」Ry Cooder and V.M. Bhatt

<ニューエイジ>

最優秀ニューエイジ・ミュージック・アルバム

「スパニッシュ・エンジェル」ポール・ウィンター

<ミュージカル>

最優秀ミュージカル・ショー・アルバム

「The Who's Tommy Original Cast Recording」<モーション・ピクチャー>

最優秀映画/TV音楽賞 (インストゥルメンタル)

「アラジン」アラン・メンケン

最優秀映画/TV音楽賞

「ホール・ニュー・ワールド」アラン・メンケン、ティム・ライス

<ミュージック・ビデオ>

最優秀ミュージック・ビデオ賞 (ショート)

「スティーム」ピーター・ガブリエル

最優秀ミュージック・ビデオ賞 (ロング)

「テン・サマナーズ・テイルズ」ステイニング

<その他>

最優秀児童向けアルバム

「アラジン」オリジナル・サウンドトラック

最優秀児童向け朗読アルバム

「Audley Hepburn's Enchanted Tales」

最優秀ヒストリカル・アルバム

「コンプリート・ビリー・ホリデイ・オン・バーブ1949-1959」マイケル・ラング他

最優秀コメディ・アルバム

「Jammin' In New York」George Canlin

最優秀朗読・非音楽アルバム

「On The Pulse Of Morning」Maya Angelou

最優秀ボルカ・アルバム

「Accordionally Yours」Walter Ostenka and His Band

最優秀アルバム・パッケージ

「コンプリート・ビリー・ホリデイ・オン・バーブ1949-1959」D.ロウ

最優秀アルバム・ノーツ

「コンプリート・ビリー・ホリデイ・オン・バーブ1949-1959」B.クレイトン、P.スカーフ他

最優秀録音賞 (ノン・クラシカル)

「テン・サマナーズ・テイルズ」H.バジャム

最優秀インストゥルメンタル・アレンジメント (ボーカルつき)

「めぐり逢えたら〜愛のテーマ」ジェレミー・ラボック、デヴィッド・フォスター

最優秀インストゥルメンタル・アレンジメント

「ムード・インディゴ」デイヴ・グルーシン

最優秀インストゥルメンタル作曲集

「フォーエバー・イン・ラブ」ケニーG

<ジャズ>

最優秀ジャズ・ボーカル

「テイク・ア・ルック」ナタリー・コール

最優秀ジャズ・インストゥルメンタル (ソロ)

「マイルス・アヘッド」ジョー・ヘンダーソン

最優秀ジャズ・インストゥルメンタル (グループ)

「ソー・ニア・ソー・ファー」ジョー・ヘンダーソン

最優秀ジャズ・アンサンブル (ビッグ・バンド)

「ライブ・アット・モントルー」マイルス・デイヴィス&クインシー・ジョーンズ

最優秀コンテンポラリー・ジャズ

「ザ・ロード・トゥ・ユー」パット・メセニー

<クラシック>

最優秀クラシック・アルバム

バルトーク/カンタータ・プロファーナ/ブレーズ指揮シカゴ 交響楽団、合唱団

最優秀オーケストラ演奏部門

バルトーク:カンタータ・プロファーナ/ブレーズ指揮シカゴ 交響楽団、合唱団

最優秀クラシック器楽独奏部門

ベルク:バイオリン協奏曲「ある天使の思い出のために」アンネ・ゾフィー・ムター、レヴァイン指揮シカゴ響

最優秀クラシック器楽部門 (オーケストラつき)

Barber/The Complete Solo Piano Music/  
Pf: John Browning

最優秀室内音楽部門

アイヴズ:弦楽四重奏曲第1、2番他/エマーソン弦楽四重奏団

最優秀オペラ録音部門

ヘンデル:歌劇セメレ/キャスリーン・バトル、S・レイミー他、ネルソン指揮、イギリス室内楽管

最優秀合唱作品部門

バルトーク:カンタータ・プロファーナ/ブレーズ指揮シカゴ 交響楽団、合唱団

最優秀声楽部門

The Art of Arleen Auger/ Aureen Auger (S)

最優秀現代音楽部門

Carter/Violin Concerto/ Eliotto Carter

最優秀クラシック録音部門

バルトーク:カンタータ・プロファーナ/ライナー・メイラード

年間最優秀プロデューサー

ジャデイス・シャーマン

特別栄誉賞

フランク・シナトラ/カーティス・メイフィールド

特別功労賞

アレサ・フランクリン/ビル・エヴァンス/アルトール・ルビンシュタイン

1994年 3月レコード生産実績

数量：千枚・巻

単位

金額：百万円

表1. オーディオディスク

	3月 実績						1994年(1月~3月) 累計						
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比	
C	邦洋計	8,749	32	68	5,662	16	70	30,229	38	82	20,180	20	85
	邦洋計	192	1	74	113	0	72	589	1	63	362	0	63
D	邦洋計	11,017	41	83	19,076	54	82	31,056	39	98	53,325	53	97
	邦洋計	7,150	26	112	10,552	30	112	17,524	22	108	25,935	26	106
小計	邦洋計	18,166	67	92	29,628	83	91	48,579	61	102	79,260	79	100
	邦洋計	19,766	73	76	24,738	70	79	61,284	77	89	73,505	73	93
アログ	邦洋計	7,342	27	110	10,665	30	112	18,112	23	106	26,298	26	105
	邦洋計	27,108	100	83	35,403	100	86	79,397	100	93	99,802	100	96
邦洋計	邦洋計	7	0	40	9	0	45	51	0	233	66	0	239
	邦洋計	37	0	46	80	0	49	109	0	44	198	0	40
合計	邦洋計	44	0	45	89	0	48	160	0	60	264	0	51
	邦洋計	19,772	73	76	24,747	70	79	61,336	77	89	73,571	74	93
合計	邦洋計	7,379	27	110	10,745	30	111	18,221	23	105	26,496	26	104
	邦洋計	27,151	100	83	35,492	100	86	79,557	100	92	100,067	100	96

表2. オーディオテープ

	3月 実績						1994年(1月~3月) 累計						
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比	
カセット	邦洋計	2,368	98	73	1,868	98	73	6,577	98	79	5,510	98	82
	邦洋計	42	2	84	44	2	73	105	2	71	114	2	61
カートリッジ	邦洋計	2,409	100	73	1,912	100	73	6,682	100	79	5,624	100	82
	邦洋計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	邦洋計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	邦洋計	2,368	98	73	1,868	98	73	6,577	98	79	5,510	98	82
合計	邦洋計	42	2	84	44	2	73	105	2	71	114	2	61
	邦洋計	2,409	100	73	1,912	100	73	6,682	100	79	5,624	100	82

表3. 複合型CD (CDグラフィックス、CD-I、CD-ROMなど)

	3月 実績						1994年(1月~3月) 累計					
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
邦洋計	1,245	100	256	1,107	100	202	3,246	100	253	3,082	100	217
邦洋計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
合計	1,245	100	251	1,107	100	200	3,246	100	246	3,082	100	215

表4. ビデオレコード

	3月 実績						1994年(1月~3月) 累計					
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
ディスク	1,865	55	112	5,304	48	102	4,460	52	106	13,519	45	96
テープ	1,546	45	105	5,830	52	97	4,115	48	120	16,267	55	110
合計	3,411	100	109	11,133	100	99	8,575	100	112	29,786	100	103

表5. オーディオ/ビデオ/AV複合型レコード合計

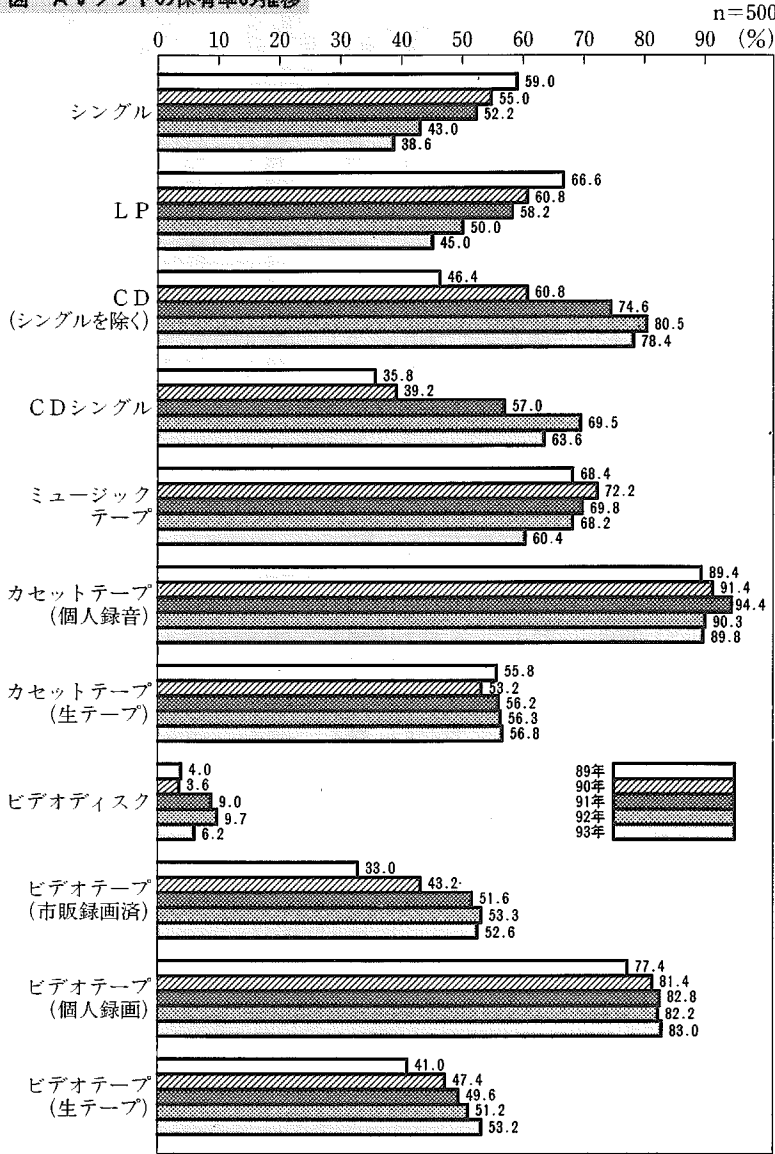
	3月 実績						1994年(1月~3月) 累計					
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
オーディオ	29,561	86	82	37,404	75	85	86,239	88	91	105,691	76	95
複合型CD	1,245	4	251	1,107	2	200	3,246	3	246	3,082	2	215
ビデオ	3,411	10	109	11,133	22	99	8,575	9	112	29,786	21	103
合計	34,217	100	86	49,644	100	89	98,060	100	95	138,559	100	98

備考 1. 本年実績は、会員会社「27社」の集計である。  
2. 単位未満四捨五入により、内訳と合計が一致しない場合がある。

AVソフトの保有実態

※本号は、5年間のAVソフト保有率の推移を下記の調査資料により紹介します。

図 AVソフトの保有率の推移



『AVパッケージメディア消費者実態調査報告書』

調査地域と対象＝首都圏30軒内に居住する13歳～39歳の男女、有効回収数500。調査期間＝1993年11月13日～11月29日（日本レコード協会調査統計部会）

AVソフトのうち、何らかのものを所有している人は全体の99%です。

<参考>

AV機器保有者率と最近1年間のAVソフト購入者率

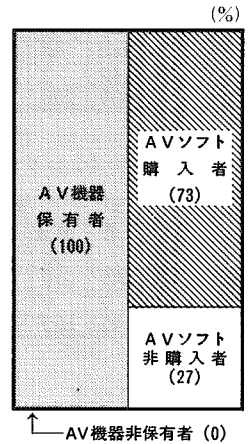


表 性別・年齢別AVソフトの保有者率 (多項回答)

性別・年齢別	総数	シングル	LP	CD (CDシングルを除く)	CDシングル	ミュージックテープ	カセットテープ・個人録音	カセットテープ・生テープ	ビデオディスク	ビデオテープ・市販の録画済	ビデオテープ・個人録画	ビデオテープ・生テープ
男性 (小計)	267	41.9	46.8	79.4	62.5	56.9	89.5	58.1	7.1	52.8	80.9	55.1
男性 10代	59	27.1	22.0	81.4	81.4	35.6	81.4	47.5	8.5	39.0	66.1	50.8
男性 20代	121	44.6	50.4	82.6	63.6	54.5	94.2	64.5	10.7	57.0	84.3	56.2
男性 30代	87	48.3	58.6	73.6	48.3	74.7	88.5	56.3	1.1	56.3	86.2	56.3
女性 (小計)	233	34.8	42.9	77.3	64.8	64.4	90.1	55.4	5.2	52.4	85.4	51.1
女性 10代	54	24.1	20.4	85.2	87.0	50.0	85.2	51.9	5.6	35.2	83.3	31.5
女性 20代	104	37.5	49.0	84.6	61.5	65.4	90.4	60.6	4.8	56.7	84.6	57.7
女性 30代	75	38.7	50.7	61.3	53.3	73.3	93.3	50.7	5.3	58.7	88.0	56.0